



特許取得済

# ファインパーフェクトシーラー™

透明

ホワイト

現場にこれ1本あれば安心の  
高機能シーラーに**ホワイト追加!**

両下地に対応!  
無機  
有機

## ■ 特長

### ① 多用途

無機、有機ハイブリッド技術により開発された特殊エポキシ樹脂の効果により、従来のモルタル、コンクリート、木部、スレート屋根に加え、サイディングボードや鉄部等あらゆる素材に幅広く対応します。

※下地適用下地以外のもは対応できない場合があります。

### ② 浸透+高付着

下地に対して高い浸透性と含浸補強性を持つとともに、高い付着力が発現します。

## ■ 適用上塗り

水性上塗り・弱溶剤上塗り塗料全般(パーフェクトトップ、ファインパーフェクトトップ他)

## ■ 適用下地と使用量目安

使用量目安: 0.05~0.12kg/m<sup>2</sup>/回 0.15~0.3kg/m<sup>2</sup>/回

無機系素材									金属系素材					有機系素材					
押出成形セメント板	サイディングボード	磁器タイル	モルタル	コンクリート	ブロック	PC板	けい酸カルシウム板	ALC	住宅用化粧スレート屋根	GRC	鉄部	電気亜鉛メッキ	カラートタン	アルミウム(A1050P)	ステンレス(SUS304)	ガルバリウム鋼板	FRP樹脂	硬質塩ビ	木部
											※1	※1	※1	※1	※1	※1	※2	※2	

★ 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、使用量・塗り回数を調整してください。

注) 大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいぶしタイルなどの特殊なタイルには付着しにくいので、試験塗装にて付着性を確認してください。**れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。**その他、特殊なタイル面への施工については、別途ご相談ください。

※1 金属系素材などを塗装する場合は、入念な面荒らしを行ってから施工してください。さびが発生している場合や腐食環境の厳しい環境では防錆性の高いさび止め塗料を使用してください。

※2 有機系素材などを塗装する場合は、入念な面荒らしを行ってから施工してください。

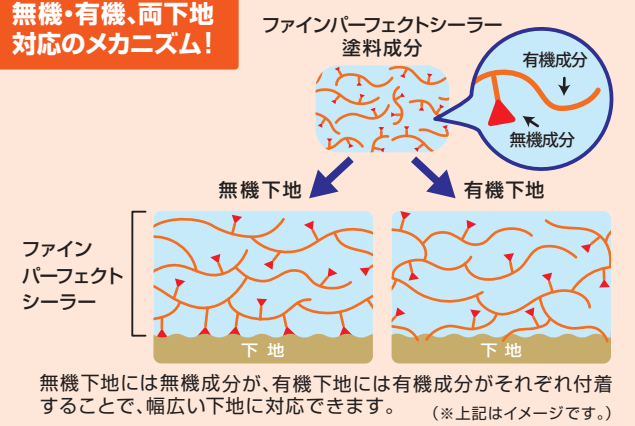
### ③ 高意匠サイディングボード対応

これまで無機や親水表面処理が施された高意匠サイディングボードでは、下地の活性状態によって、下塗りシーラーの付着性が十分に発揮されないケースがありました。ファインパーフェクトシーラーは窯業系サイディングボードの種類・表面の活性状態に付着性が左右されず、各種外壁材に対応可能です。

## ■ 用途

内外部壁面・住宅用化粧スレート屋根面、新築・塗り替え塗装の下塗り(内部に使用する場合は十分に換気を行ってください。)

### 無機・有機、両下地 対応のメカニズム!



# ニッペ ファインパーフェクトシーラー™

JASS 18 M-201 反応形成樹脂ワニス(2液反応エポキシ樹脂ワニス)による

## 塗装基準

- ◆ 希 釈 率：無希釈(少しでも希釈すると性能が低下します)
- ◆ 混 合 比：塗料液(主剤)：硬化剤= 5：1
- ◆ 可使時間：6時間(気温23℃/室温85%以下)
- ◆ 使用量：前ページの各素材での使用量を必ずご確認ください。
- ◆ 塗装方法：はけ・ウールローラー・エアレススプレー塗り
- ◆ 乾燥時間

	5℃~10℃	23℃	30℃
指触乾燥時間	3時間	50分	30分
塗り重ね乾燥時間	8時間以上 7日以内	4時間以上 7日以内	4時間以上 7日以内

- ★上記の数値はすべて標準の数値です。被塗物の形状・種類・素地の状態・気象条件・使用量・施工条件および測定方法により幅を生じ増減します。
- ★乾燥時間は目安です。使用量・通風・温度および素地の状態によって異なります。
- ★エポキシ樹脂を配合していますので、長時間直射日光に当てないでください。
- また、上塗りにクリアー塗料の塗装は避けてください。
- ★高温下では硬化反応が著しく速まります。
- 高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。


## 容量・荷姿

ニッペ ファインパーフェクトシーラー	15kgセット(塗料液/12.5kg 硬化剤/2.5kg)
	6kgセット(塗料液/5kg 硬化剤/1kg)
荷姿/石油缶・屈平缶 色相/淡褐色透明・ホワイト	

## ■施工上の注意 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などをご確認ください。)

- 被塗物の洗浄やエポキシ樹脂の除去に酸性洗浄剤/アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の白化、はれを起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
- 使用量は、濡れ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を塗り重ねてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはれがつかないケッチッし、はれなどが発生する場合は再度シーラーを塗装してください。
- 吸い込みが少い素地や下地の場合は、乾燥不良による縮みや膨れが起る可能性がありますので、各工場の乾燥時間は十分長めにとってください。
- 鉄、アルミニウム、電気亜鉛めっきなどを塗装する場合は入念な面洗いを行ってください。さびが発生している場合や、腐食環境の厳しい環境では防錆性の高いさび止め塗料を使用してください。
- 屋根面、金属屋根などには使用しないでください。
- 本品さび止め塗料は塗り重ねないでください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタコ、アクリルトップなどの場合、塗膜が剥離する恐れがあります。そのまま塗装すると膨れがさらさらに加大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なると、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- さびやぬれなどがある場合は、サンドペーパーで除去してください。
- 吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
- FRP、塩ビに直接塗装する場合は、下地調整(目直し)を実施してください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に付着し難い素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。
- 経年したサイディングボード面の塗装は、劣化が進行しており、表面劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工をおこなって付着性を確認してください。
- 押出成形セメント板(アスロック、メーサなど)におまして、弱溶剤系シーラーとニッパシンの組合せによる仕上げをする場合、シーラーの乾燥が不十分だと膨れ、はく離などの問題が起る場合があります。ニッパシンの仕上げの場合は、シーラーにニッペー液浸透シーラー、ニッペ浸透性シーラー(新)をご使用ください。
- 本品を塗装する場合は、上・中塗りの塗り残しがないようご注意ください。また、当たり傷などにもご注意ください。上・中塗りに透けや塗り残しは、当たり傷などがあると素地外壁により周辺塗膜が早期に劣化する恐れがあります。
- 大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はく離処理した系統タイル、グラファイトを施したタイルには付着しにくいので、試験塗装で付着性をご確認ください。
- 目地部がぬれ色になるまで下塗りを塗装してください。
- 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- 目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどで必ず切り取り、除去してください。
- すでに旧塗膜がある場合は、稀め、はく離を生じることがありますので、ケレンしてから塗装してください。
- 下地調整剤が濃い場合には、早期にさびを発生する可能性があります。
- 本品は規定の塗り重ね乾燥時間より早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みが大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
- 上塗りにクリアー塗料の使用は避けてください。紫外線の透過によりシーラー層が劣化し、はく離の原因になります。
- 高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。
- 劣化の著しい外装部については、表面剥離の恐れがありますので、先に剥けて下地を、
- 吸い込みの少ない素材にはシーラーがたまりやすくなるのでご注意ください。被塗面に汚れが多く残存すると付着低下のおそれがあるため、施工前は十分水洗してください。
- 溶剤蒸気のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取り入れ口に養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願いします。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。

## ■安全衛生上の注意事項

ニッペファインパーフェクトシーラー 塗料液		横倒禁止
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本来の用途以外に使用しないでください。</li> <li>2. 使用前に取扱説明書を手当てしてください。</li> <li>3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。</li> <li>4. 熱/火花/炎 高温のもののような着火源から遠ざけてください。= 禁煙です。</li> <li>5. 容器を密閉しておいてください。</li> <li>6. 容器を接地/アースをとってください。</li> <li>7. 防塵用の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。</li> <li>8. 火花を発生させない工具を使用してください。</li> <li>9. 静電気放電に対する予防措置を講じてください。</li> <li>10. 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。</li> <li>11. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。</li> <li>12. 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。</li> <li>13. 必要ない時は、環境への放出を避けてください。</li> <li>14. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。</li> <li>15. 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>16. 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。</li> <li>17. 口をすいでください。</li> <li>18. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。</li> <li>19. 漏出物を回収してください。</li> <li>20. 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水がシャワーで洗ってください。</li> <li>21. 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。</li> <li>22. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。</li> <li>23. 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>24. ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>25. 皮膚刺激を生じた場合：医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>26. 眼の刺激が続く場合は：医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>27. 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。</li> <li>28. 火災の場合：消火に適切な手段を使用してください。</li> <li>29. 旋錠して保管してください。</li> <li>30. 換気の良い場所で保管してください。容器を密閉しておいてください。</li> <li>31. 換気の良い場所で保管してください。涼しいところに置いてください。</li> <li>32. 直射日光や水濡れは厳禁です。</li> <li>33. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。</li> <li>34. 容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(備荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)</li> <li>35. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはく離しないでください。</li> <li>36. 内容物/容器を国、地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。</li> <li>37. 塗料、塗料容器、塗料具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者へ処理を依頼してください。</li> </ol>	
<p>※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。</p> <p>●詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。</p> <p>■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</p>		
<p><b>危 険</b></p> 		<p><b>危険有害性情報</b></p> <p>引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/(気道刺激性)呼吸器への刺激の恐れ又は(麻酔作用)眠気又はめまいのおそれ/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性/長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性</p>

## 性能

試験項目	規 格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗り塗装作業に支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
耐水性	水に浸して異常があってはならない。	合格
耐アルカリ性	24時間浸しても異常がないものとする。	合格

※当社社内試験結果による

## 塗料性状

ポットライフ(23℃)	6時間	
密度(g/cm <sup>3</sup> )(23℃)	透明	0.91
	ホワイト	1.03
引火点	46℃	
発火点	塗料液	200℃(参考値)
	硬化剤	454℃(参考値)
有機溶剤区分	第3種	

消防法表示	化学名	透明	合成樹脂クリアー塗料
		ホワイト	合成樹脂エナメル塗料
	危険物区分	第4類第2石油類(非水溶性)	
有害物表示	危険等級	Ⅲ(火気厳禁)	
	塗料液	キシレン	
	硬化剤	キシレン 変性脂肪族ポリアミン	

27. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
28. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
29. 旧塗膜に発生した塵/かびは、洗浄で必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなおそれがあります。
30. 既存塗膜の離脱箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパター合わせを行ってください。
31. 修理工事に使用する場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を傷め溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類を確認の上、塗装仕様をご確認ください。
32. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
33. タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、このような場合には薬剤が付着しない様に塗膜の養生を行ってください。
34. 素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科科学社製H5007シリーズ・コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
35. 素地の乾燥は十分にしてください。
36. 表面のみ、ほざけ、エポキシ樹脂、レタインズなどは除去し、目直し、ジャンク、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
37. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において裏穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ材カオソフイラー ニッペフラー-200)などで処理してください。(合成樹脂エナメル/シボの使用は避けてください。)
38. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
39. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
40. 屋外の塗装で雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
41. 塗装時および塗装後に密閉し、乾燥が速まるので、換気も十分にしてください。
42. 塗装時および塗料の取り扱いは、換気も十分に、換気扇も十分にしてください。
43. 取扱いのため必ず養生を行ってください。
44. シーリング面の塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起すことがありますので、原則としてニッペパーフェクトNBシールを抜き行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものと、塗り重ね適性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペパッドオフプライマーを塗下塗ることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、取崩れが起ることがあります。
45. 空木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
46. 汚れ、さびなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗料条件を同一にしてください。
47. クロスの上の塗装は避けてください。
48. ローター、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はききなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄してから、専用でご使用ください。
49. 可塑剤が多く含まれる塩化ビニル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗料が直接触れることがないようにご注意ください。
50. 平滑仕上げや樹脂仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研削工程が必要になる場合があります。
51. 上塗りに強溶剤系塗料の使用は避けてください。
52. 塗料は内容物が均一になるようによく混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いてよく混ぜてください。
53. 開封直後一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷蔵所で保存し、速やかに使い切ってください。
54. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を傾斜にしないでください。
55. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101	近 畿 支 店 ☎ 06-6455-9608
東北支店 ☎ 022-232-6712	中 国 支 店 ☎ 082-281-2180
関東支店 ☎ 03-5479-3614	四 国 支 店 ☎ 0877-56-2346
北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614	九 州 支 店 ☎ 092-751-9861
中部支店 ☎ 052-461-1960	

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社名、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2019 NIPPON PAINT CO., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ http://www.nipponpaint.co.jp/

カタログNo.

NP-W196

AA190303T  
2019年3月現在